

アイデア名	アイデア内容
「8つの愛の言葉(8 Languages of Love)」診断ラリー	8つの愛の言葉(8 Languages of Love)診断ラリー 1. 企画背景と目的 現代の若年層において、結婚に対する不安の多くは「価値観の一致」や「パートナーとの良好な関係を維持できるか」というコミュニケーション面にあります。本企画は、アメリカの心理学で広く親しまれているゲイリー・チョップマン著作「5つの愛の言語(The 5 Love Languages)」をベースに、「TOKYO八結び」にちなんだ「8つ」の要素へとアップデートした回遊型体験イベントです。自分と相手の「愛の表現のクセ(心地よいと感じるコミュニケーション)」の違いを楽しく可視化することで、交際カップルには結婚への安心感を提供し、独身層には他者と深く関わることの魅力を伝えて結婚気運の醸成を図ります。 2. イベント内容・体験の流れ 会場内に「8」にちなんだ8つの特設チェックポイントを設置し、参加者はラリーシート(または専用スマホアプリ)を手に巡ります。各スポットでは、以下の要素をテーマにした簡単なクイズやミニゲームに挑戦します。 ※ 診断要素の例: ①肯定的な言葉、②身体的なタッチ、③クオリティ・タイム(充実した時間)、④贈り物、⑤家事の分担(サービス活動)、⑥趣味と旅行、⑦未来の計画、⑧お互いの自由の尊重 【体験の流れ】 ※ 入場時に「8結び診断シート」を受け取る(またはQRコードで参加)。 ※ 「八」の字型のブース配置に沿って、8つのスポットで心理テストや直感選択ゲームを行う。 ※ すべてのポイントをクリアすると、自身の「愛の言語タイプ」が判明。カップルで参加した場合は、お互いの相性や「ふたりが末広がりになるためのアドバイス」が印字された「八結び証明書」が発行されます。 3. 本企画における「8・八・∞」の活用方法 ※ 「8」の診断軸: 関係性を深めるコミュニケーション要素を「8つ」に再定義。 ※ 「八」の会場動線: ブース全体の配置を、末広がりの「八」の字や、循環を意味する「∞(無限)」の形にレイアウトし、回遊自体に縁起の良い意味を持たせます。 ※ 「∞」のエンディング: 診断結果を重ね合わせると、ふたりの絆が無限(∞)に続くことを表すデジタルアートがフォトスポットに浮かび上がる演出を用意します。 4. 期待される効果 ※ カップル層への効果: 互いの違いをポジティブに理解し、「この人と一緒に上手くやっていける」という結婚への具体的な安心感を持たせます。 ※ 独身層への効果: 自己分析ツールとして楽しめると同時に、「他者と関わり、結びつくことの楽しさ」を体感させ、パートナーシップへの憧れを醸成します。 5. 注意事項 ゲイリー・チョップマン著作を引用するので著作権料が必要な可能性あり。
「8つの婚活ポイント」自己分析トークセッション	1. コンセプト ①背景: 若者の結婚への関心はあるものの、「具体的にどう動けばいいかわからない」「自分に合う人が見えない」という『一歩手前での足踏み層』が多いことが課題 ②目的: マッチング(出会い)の提供だけでなく、その前段階である「自己理解」と「結婚観の醸成」を促す教育的アプローチ。これにより、一時的なイベントにとどまらない持続的な結婚支援を行う。 2. 「8つの婚活ポイント」の具体的な中身 偏った恋愛テクニックではなく、「持続可能なパートナーシップ」に直結する公的な安心感のある8要素を設定 ①生活リズム・休日の過ごし方(日常の共有度) ②金銭感覚・キャリアの展望(経済的な将来設計) ③家事・育児の分担意識(ジェンダー平等の視点) ④コミュニケーション・話し合いのスタイル(問題解決能力) ⑤家族・親族との距離感(周囲との関係性) ⑥住む場所・理想の住環境(ライフスタイルの基盤) ⑦お互いの譲れないこだわり(自己理解と許容度) ⑧10年後、20年後に目指す夫婦像(長期的なビジョン) 3. イベントの具体的な流れ(当日のオペレーション) 第1部: インプット&自己分析(30分) 専門家(ライフプランナーや心理カウンセラー)によるミニ講義 特製の「8角形自己分析シート(レーダーチャート)」に、自分の価値観を記入 第2部: トークセッション(60分)4~6人のグループワーク(男女混合)。 「私は3(家事育児)を重視します」「僕は2(キャリア)がこうです」と、シートを見せ合いながら対話。 メリット: シート(共通言語)があるため、口下手な人でも会話が途切れず、独りよがりな自慢話やハラスメント発言を防げます。 第3部: まとめ&都の施策案内(15分) ワークの振り返りと、都の「AIマッチングシステム」や「TOKYOふたりSTORY」の紹介。 4. 効果 ①「告白タイム」や「カップリング発表」をあえて行わない構成。「誰ともマッチングしなくて傷ついた」という不満が出ず、参加者全員が「自己分析ができた」という満足感(持ち帰り成果)を得られる。 ②大規模な会場や豪華な食事は不要。会議室やオンライン(Zoom)でも実施可能 ③イベント前後にアンケートを実施。「結婚への意識が前向きになったか」「自分の求める条件が明確になったか」を数値化(行動変容の可視化)することで、効果検証可能。他の施策やイベントに誘導出来る。

アイデア名	アイデア内容
80分で未来をデザイン『理想の我が家』ノバ体験ゲーム	東京都の結婚支援事業「TOKYO八結びアイデアアワード」に応募された本企画は、20～30代の独身男女がペアになり、80分間で「理想の我が家」を共同でデザインする体験型同棲シミュレーションゲームです。 ■ 企画の目的と効果 従来の「おしゃべり型婚活」では見抜けない、結婚生活に最も重要な「主体性」「家事・育児へのスタンス」「金銭感覚」「歩み寄り力(協調性)」を、限られた予算内での共同創作プロセスを通じて自然に可視化します。完璧な条件を求めるのではなく「2人でチームを組む楽しさ」を体感させ、結婚への心理的ハードルを下げます。 ■「8」や「∞」を活用した3つの仕掛け 1. 80分のタイムサバイバル: 出会いから発表までを4ステップの計80分に凝縮。制限時間により「素早い判断」と「本音の対話」を引き出します。 2. 8つの重要ゾーン: リビングや個室、サニタリーなど、結婚生活に不可欠な8エリアのレイアウトをミッション化。 3. ∞(インフィニティ)型動線: 効率的な「家事ラク循環動線」をふたりで設計させ、共家事の視点を自然に体得させます。 ■ 行政・参加者双方へのメリット 宿泊型同棲のような運営リスクがなく安全性が高い一方、プロから収納やインテリアのコツを学べるため、マッチングが不成立でも参加者のQOL(生活の質)が向上する満足度の高い設計です。都の住宅アセット(JKK東京)とのシナジーや企業協賛、SNS拡散も狙える極めて公共性の高い施策となっています。
∞(インフィニティ)水引アート・ワークショップ ～途切れない縁を形にする、体験型伝統工芸イベント～	「∞(無限大)」の形をベースにしたオリジナルの「八結び水引」を、参加者が職人と一緒に編み上げる体験型ワークショップです。完成した水引は特製のメッセージカードに添えて大切な人に贈ることができます。さらに、会場には巨大な「八」の字型の和紙ボードを設置し、参加者がそれぞれの願いを書いた水引を結びつけていく「全員参加型のアート展示」を展開します。みんなの結び目が集まることで、一つの大きな祝祭空間を創り出します。 ■結婚気運醸成への効果 お互いのために水引を編む、または将来への願いを込めてボードに結ぶという「共同作業」を通じて、ふたりの絆や結婚への意識を自然と高めます。SNS映えする美しい水引ボードがデジタル上で拡散されることで、来場者以外にも結婚へのポジティブな憧れを波及させます。 ■社会的配慮・公共性への配慮 「結婚」という特定の形にとらわれず、「ふたりの絆」「大切な人への感謝」をテーマにしています。そのため、事実婚や同性パートナー、あるいはこれから未来のパートナーに出会う单身者など、あらゆる価値観の人々が排除感なく参加できる多様性に配慮した内容です。
∞「八つの“ありがとう”で結び直すTOKYO感謝ループ」企画	東京都が主催する結婚関連イベントで、来場者が「感謝」を通じて結婚への前向きな気持ちを育てる体験型企画です。テーマは「八つのありがとう」。結婚生活の基盤となる“感謝の循環”を、数字の8が象徴する「∞(無限)」の形に重ね、ふたりの関係が続いていく未来を視覚化します。 会場には、八方向に広がる円形ステージ「感謝ループ」を設置します。ステージの周囲には、 ①生活、②仕事、③家族、④健康、⑤時間、⑥趣味、⑦思いやり、⑧未来の八つのテーマが配置され、来場者はその中から直感で一つ選びます。選んだテーマに応じて、専用端末に「最近、誰にどんな感謝を伝えたいか」を入力します。恋人・友人・家族・職場の人など対象は自由で、結婚をまだ意識していない若年層でも参加しやすい設計にします。 入力すると、AIが感謝の言葉を“∞型のメッセージカード”として生成します。カードには東京らしいモチーフ(都庁、東京タワー、隅田川、都電など)が淡く背景に入り、視覚的にも魅力的なデザインに仕上げます。参加者はこのカードをSNSでシェアでき、ハッシュタグ「＃八つのありがとう」「＃TOKYO感謝ループ」を付けて投稿することで、ポジティブな感情が広がり、結婚への好意的なイメージを社会全体に波及させます。 さらに、会場には「感謝の声が∞になる壁」を設置します。投稿されたメッセージの一部がリアルタイムで壁面に流れ、八方向に広がる光のラインが∞の形を描きます。来場者は自分の言葉が“誰かの背中を押す光”になる体験を得られ、イベント全体が温かい雰囲気包まれます。 最後に、希望者には「未来の自分へ送る“8秒ボイスメッセージ”」を録音できる小ブースを用意します。8秒という短さが参加のハードルを下げ、気軽に未来への前向きな言葉を残せます。録音した音声は後日メールで届き、イベントの余韻を長く保つ仕掛けになります。 八つの感謝が∞に広がり、東京から“温かい気持ちの連鎖”を生み出す—— この企画は、結婚を「感謝で結び直す未来の選択」として捉え直し、幅広い世代にポジティブな結婚気運を届けます。
∞リボンアート	来場者一人ひとりが結婚や大切な人への思い、未来への願いなどをリボンにき込み、会場に設置された大きな「∞(インフィニティ)」のオブジェに結び付けていく参加型アート企画です。 ∞には「永遠」「つながり」「終わりのない絆」という意味を込め、結婚生活を支え合いながら歩む夫婦の姿や、人と人との温かな縁を象徴します。 リボンには、「いつまでも笑顔で過ごしたい」「思いやりを大切にしたい家庭を築きたい」「将来は家族みんなで幸せに暮らしたい」など、それぞれが思い描く未来や理想の結婚生活を自由に記入します。 結婚を希望しているだけでなく、既婚者や家族、友人同士でも参加できるため、多様な立場の人が結婚の持つ前向きな価値や、人とのつながりの大切さを改めて考えるきっかけになるはずです。 イベントの終了時には、参加者全員の思いが込められた無数のリボンによって、一つの大きな∞アートが完成。 その作品を写真や動画で撮影し、公式SNSやホームページで公開することで、「結婚は一人ではなく、多くの人とのつながりの中で育まれるもの」というメッセージを広く発信します。 来場者自身も完成した作品を撮影・共有したくなるフोटスポットとなり、「∞」と「令和8年」の「8」を印象的に結び付けた、祝祭感と話題性のある企画です。

アイデア名	アイデア内容
∞結びフェス ～8つの幸せを見つける1日～	「8」「ハ」「∞」をテーマに、大切な人とのつながりや結婚を前向きに考えるきっかけとなる体験型イベント「∞結びフェス」を提案します。 来場者には「∞結びパスポート」を配布し、会場内の8つの体験を巡ってもらいます。 例えば、 「未来の自分や大切な人へのメッセージを書くブース」 「∞をモチーフにしたフォトスポット」 「結婚や家族について楽しく学べるクイズ」 「ありがとうメッセージボード」 など、世代を問わず楽しめる内容とします。 また、「∞ベンチ」を設置します。 ∞の形をイメージしたベンチに座ることで自然と人との距離が近づきます。 ベンチには「8秒間、大切な人の目を見て感謝を伝えてみませんか？」というメッセージを添えます。 恋人だけでなく、夫婦、親子、祖父母、友人など、さまざまな関係の人が利用できるため、多様性にも配慮した企画です。 さらに、会場にはゴールまで888歩の「888歩ロード」を設置します。 道中には「出会い」「思いやり」「ありがとう」「支え合う」「未来」などの言葉を配置し、歩きながら大切な人との関係を振り返ることができます。ゴールには大きな∞オブジェとフォトスポットを設置し、「これから も幸せが末広がりに続きますように」という願いを込めて記念撮影ができます。 8つの体験を達成した参加者には東京の本材で作られた木札の「∞結び認定証」をプレゼントし、イベントの思い出として持ち帰ってもらいます。 また、SNSでは「#∞結び」「#8つの幸せ」などのハッシュタグで写真や感謝のメッセージを発信してもらい、イベント終了後も温かい気持ちや結婚への前向きなイメージが広がることを目指します。
Design TOKYO ～私たちが知らない、東京の8つのデート～	東京都には都営交通や都立施設、伝統文化、自然など魅力的な資源がたくさんありますが、意外と都民でも体験していないものが多いです。 そこで、東京都がそれらを組み合わせた8種類のデートプランをプロデュースします。 参加者は好きなプランを1つ選び、都営交通で移動しながらデートを楽しみます。例えば、伝統工芸や食文化体験、東京の自然を巡るコース、夜景を楽しむコースなど、「自分たちでは思いつかない・予約しない デート」を東京都が提案します。 各プランには、二人で協力して楽しめる小さなミッションを用意します。何かを一緒に完成させたり、新しい東京の魅力を発見したりすることで、「この人となら楽しい」「また一緒に出掛けたい」という気持ちを 自然に育みます。 最後は都庁展望室で一日を振り返り、東京で暮らす未来や結婚生活を考えるきっかけをつくります。
「TOKYOハ結び 謎解きパワースポットラリー」	東京都内にある8か所のパワースポットを巡る、謎解きスタンプラリーを開催します。 参加者は数名ずつのチームに分かれ、協力して謎を解きながら8つのスポットを巡ります。チームで相談したり助け合ったりすることで自然と会話が生まれ、お互いを知るきっかけになります。 ゴール後には参加者同士が交流できるイベントを実施し、新しい友人づくりや結婚につながる出会いを後押しします。 観光・健康・交流・出会いを組み合わせた体験型イベントとして、東京都の魅力を再発見しながら、自然な形で結婚気運の醸成につなげます。 期待される効果 *「8」や「ハ」をテーマにした令和8年度ならでは企画になる。 * 協力型ゲームのため、初対面でも自然に会話が生まれる。 * 恋愛だけでなく、友人や仲間づくりのきっかけにもなる。 * 東京都内の観光・地域活性化にも貢献できる。 * 「ハ」から「∞」へ、ご縁が広がっていくことを象徴したイベントとして発信できる。
TOKYO 8バジェット(エイト・バジェット)～800円の幸せから、8万円の安心まで～	【企画概要】 「結婚はお金がかかる」という若者の漠然とした経済的不安を、「800円」「8,000円」「80,000円」の3つのリアルな予算軸(バジェット)を通してポジティブに解消する、WEB投稿型キャンペーンおよびイベン ト展示企画です。 【具体的な内容】 東京都の特設サイトを開設し、3つの「8」の予算に応じた等身大の楽しみ方や、リアルなやりくりハックをユーザーから募集します。 【予算800円】日常の等身大の幸せ(楽しさの気づき) 「2人で800円以内の夜ピクニック」など、お金をかけなくても、ふたりだからこそ爆発的に楽しくなる日常の工夫を共有し、結婚の醍醐味に気づかせます。 【予算8,000円】特別な日のご褒美(持続可能な贅沢) 「お家映画館と少し良いデリのテイクアウト」など、背伸びしすぎないふたりらしい記念日や週末の過ごし方を可視化します。 【予算80,000円】将来の安心とゆとり(金銭的不安の払拭) 「同棲で生活費が月8万円浮いた」等のリアルな声を募集。またサイト内に、毎月計8万円(1人4万円)を新生活へ積み立てた場合のシミュレーターを設置し、「5年で480万円(+運用益)貯まる」という具体 的な数字で安心感を提供します。 【WEBの仕組みとイベント連動】 ユーザーは指定ハッシュタグでSNSやサイトに投稿。訪問者が「真似したい」と思った投稿に「いいね(ハ結び)」を投票し、上位には東京ポイント最大8,888ptなどのリワードを進呈します。東京都が主催するリ アルイベント会場では、これら人気投稿のパネル展示や、タッチパネルによる「将来の積立シミュレーション体験ブース」を設置し連動させます。 【効果と多様性への配慮】 「結婚＝何百万も必要」という先入観を解きほぐし、個々の経済状況に応じた「多様な幸せの形」を肯定します。行政が「楽しさ」と「リアルな数字」をシンプルに示すことで、若者がプレッシャーなく前向きに結婚 を考えるきっかけを作ります。

アイデア名	アイデア内容
TOKYO ∞(インフィニティ)バスツアー ～8スポット縁結び1DAY～	「TOKYO ∞(インフィニティ)バスツアー」は、東京都が都営バスを活用して実施する、1日限定の特別な出会い支援イベントである。参加者は専用の都営バスに乗り込み、東京の魅力的なスポットを結ぶ8つの停留所を巡りながら、自然な交流を楽しむことができる。バスは周回型ルートで運行され、各停留所ではテーマに沿ったミニ交流イベントが用意されているため、移動と出会いが一体化した“縁の循環体験”が生まれる。 車内には「趣味タグシート」(カフェ／散歩／アート／映画／旅行／グルメなど)を配置し、参加者は自分の興味に近い席に座ることで、最初から話しやすい相手と隣り合える。さらに、車内にはQRコードを設置し、読み取ると匿名プロフィールカードを交換できる仕組みを導入。連絡先交換の気まずさがなく、降車後にマッチング通知が届くため、安心して参加できる。 8つの停留所では、それぞれ異なる交流体験を提供する。 新宿では自己紹介カード交換、渋谷ではカフェでの8分トーク、表参道では散歩交流、六本木ではアート鑑賞、銀座ではスイーツ交流、上野ではミュージアム体験、浅草では縁結びスポット参拝など、東京の文化・街並みを楽しみながら自然に距離が縮まるよう設計されている。 さらに、参加者の行動意欲を高めるために**「∞スタンプラリー」**を導入。8つの停留所すべてでスタンプを集めると「縁結び記念カード」が授与され、達成者同士が参加できる特別交流タイムも用意される。 これにより、ツアー全体の一体感が生まれ、参加者同士のつながりが深まりやすくなる。 また、バス車内では「東京×恋愛」をテーマにしたBGMを流し、移動時間そのものを“出会いのムード”に変える演出を行う。さらに、参加者には「共通話題カード」を配布し、会話が苦手な人でも自然に話しやすいように工夫する。 東京都の生活インフラである都営バスを活用し、日常の延長線上で自然に出会いが生まれる“東京らしい婚活支援”として展開できる。
TOKYO 八結び 88秒チャレンジ ～88秒で未来が動き出す～	「八」は末広がりを意味する縁起の良い数字です。この「八」を生かし、参加者が88秒間のミニチャレンジを通して自然に交流できる体験型イベントを提案します。 結婚というと「重い」「ハードルが高い」と感じる人も少なくありません。しかし、人と人とのつながりは、短い会話や小さなきっかけから始まります。 88秒という限られた時間だからこそ緊張せず参加でき、「もう少し話してみたい」という前向きな気持ちが生れます。結婚への第一歩となる、人との出会いや交流を応援するイベントです。 イベント内容 会場には8つの交流ブースを設置します。 テーマ例 ・東京のおすすめデートスポット ・好きな食べ物・趣味・行ってみたい場所・将来やってみたいこと ・休日の過ごし方・好きな季節・東京の魅力 参加者は好きなブースで88秒間の交流に挑戦します。 交流後は次のブースへ移動し、新しい人と会話を楽しんでもらう。 八結び認定 8つすべてのチャレンジを達成すると「八結び認定証」をプレゼント。 さらに抽選で東京都内のレストラン、ホテル、文化施設などのペア利用券をプレゼントし、「次のデートにつながるきっかけ」を提供する。 SNS企画 会場には「∞(無限)」をイメージした大きな「8」のフォトスポットを設置。 「#TOKYO八結び」「#88秒チャレンジ」で写真を投稿してもらい、イベントの魅力を広く発信。
TOKYO 八結びフラワーウォーク ～音で巡る、令和の街の花祭り～	大がかりな施設設営は行わず、スマートフォンと街の既存スポット(生花店、式場、神社、歴史的洋館など)を活用し、予算を抑えながら街全体を舞台にした没入感のある体験を実現する、全世代・ソロ参加歓迎のサウンドウォークイベントです。 参加者は、開催エリア内の複数の協力生花店で、イベント限定のリボンが付いた一輪の花を受け取りスタート。スポットに設置されたQRコードをスマホで読み込み、音声マップを片手に街の魅力溢れるスポットを巡ります。専用Webページでは、参加者の状況に合わせて2種類の音声コンテンツを選択できます。 ①【一人参加向け音声】:中性的な声のナビゲーターが、日々を懸命に生きる「あなた」を物語の主人公として迎え、街を巡りながら未来の幸せや大切な人とのつながりを想像できるストーリーを届けます。 ②【カップル向け音声】:2人の歩みを温かくナビゲートし、「初めて会った日のこと」「相手の好きなところ」「8年後に叶えたいこと」など、自然な会話が生まれる問いかけを交えたストーリーです。互いの魅力や感謝を再発見できる体験を提供します。(音声を利用せず、マップのみで街歩きやデートを楽しむことも可能。) 最終目的地は、誰もが自由に行き交う「開かれた広場」です。広場の中央には、参加者一人ひとりの花で完成する巨大な「八結びブーケ」を設置。花は祝福や感謝を象徴する存在であり、一輪一輪の想いが集まることで、多様な幸せの形を可視化します。来場者は持参した花を添え、「未来の願い」や「身近な幸せ」を記したりリボン結びます。イベントを通じて、東京を象徴する祝福の花束が完成します。 結婚を押し付けるのではなく、「誰かを大切にし、自分も大切にされる喜び」を体感できることが本企画の特徴です。「八」の末広がりが「結び」という日本文化の意味を、花と街歩きの体験を通して表現し、「誰かと歩む未来や結婚を前向きに思い描くきっかけ」を創出します。また、地域の生花店や式場、神社、歴史的施設などと連携することで、公共性を保ちながら街歩きや地域活性化にも貢献します。
TOKYO∞ LIFE DESIGN ～8つの対話から始まる、ふたりの∞未来～	結婚はゴールではなく、ふたりの人生を共にデザインするスタートです。しかし、現在は約3組に1組が離婚するといわれており、その背景には、お金や家事、子育て、仕事、親との関わり方など、将来について十分に話し合う機会が少ないことも一因と考えられます。 そこで、結婚を前向きに考える「きっかけ」として、体験型イベント「TOKYO∞ LIFE DESIGN」を提案します。 参加者は「∞LIFE PASSPORT」を受け取り、「8つの対話」に挑戦します。例えば、「8年後どんな暮らしをしたい?」「家計はどう管理したい?」「子どもについてどう考える?」「仕事や休日をどう過ごしたい?」など、普段は話す機会が少ないテーマについて、お互いの価値観を共有します。 対話を終えると、「LIFE DESIGN BOOK」が完成します。これは正解を決めるものではなく、お互いの価値観や夢、将来像を見える化する「ふたりだけの未来ノート」です。また、ライフステージごとに利用できる東京都の結婚・住まい・妊娠・出産・子育て・介護などの支援制度も掲載し、「困ったときに思い出せるガイドブック」として持ち帰ることができます。 さらに、∞PASSPORTを使って東京の施設や観光スポットを巡るスタンプラリーを実施し、自然と会話が生まれ、東京での思い出づくりにもつながります。 結婚を「手続き」ではなく、「未来と一緒に考える体験」へ。人生に正解はありません。だからこそ、何度でも対話し、お互いを知り続けるきっかけを東京から届けたいと考えます。

アイデア名	アイデア内容
TOKYOインフィニティー散策スポット	未広がりの「8」は、日本では古くから運氣が開ける縁起の良い数字として大切にされてきました。東京の特色や「8」のロマンチックな意味合いを掛け合わせた、魅力的で参加したくなる婚活・出会いイベントの企画案を3つ提案します。 1. 【未広がり結び】浅草・神田 縁起物めぐり散策コン 「8」の未広がりになみなみ、都内の歴史あるパワースポットを巡りながら自然に仲を深める和風の散策イベントです。 企画コンセプト:「8」に縁のある、または縁結びで有名な神社(例: 八幡神社や、未広がりの扇がモチーフのスポット)を男女のグループで散策します。 イベントの流れ:浅草や神田周辺のレトロなカフェで1対1のミニトーク(自己紹介)。 男女混合のグループ(4〜8名)に分かれ、ミッション形式で周辺のパワースポットや老舗の和菓子店を散策。 最後は「未広がり」にちなんだ特製スイーツやディナーを楽しみながらのマッチングタイム。 ここがポイント:歩きながら景色が変わるため会話が途切れにくく、初対面でも緊張せずに自然体な姿をみせ合えます。 2. 【Premium 8-Party】夜景を楽しむハイステータス・交流ラウンジ 「8」という数字のスタイリッシュさや、横に倒すと「∞(インフィニティ=無限の可能性)」になるロマンチックな意味を込めた、少し大人向けの華やかなパーティーです。 企画コンセプト:東京タワーやスカイツリーが見える丸の内・六本木のスタイリッシュなラウンジを貸し切り、洗練された空間での出会いを提供します。 イベントの内容:「8分間」のローテーション・トーク: 長すぎず短すぎない8分間で、参加者全員としっかりお互いの印象を残せる会話時間を確保。 ∞(インフィニティ)マッチングシステム: 従来の「第1希望のみ」ではなく、「少しでも話してみたい」と思った相手を最大8名までカードに書けるシステムにし、カップル成立確率を底上げします。 ここがポイント:「仕事もプライベートも充実させたい」という、結婚に対して前向きで質の高い出会いを求める層に響きやすい企画です。 3. 【未広がりディナー】8つの推し活・趣味で繋がる少人数限定グルメコン 大人数のパーティーが苦手な方に向けて、「8」という数字を人数と共通点に落とし込んだ、密度の高いアットホームな居酒屋・レストランイベントです。 企画コンセプト:1テーブル「男性4名・女性4名」の計8名に限定。さらに、事前に「旅行」「アニメ」「グルメ」など8つの共通テーマを設定し、最初から価値観の近い人だけを集めます。 イベントの内容:席替えは1回のみ。計8名のメンバーとじっくり、美味しい食事(未広がりになんだ八寸料理や、縁起の良い食材を使ったコース)を囲みながら本音でトーク。 連絡先交換の時間には、主催者から「次のデートで行きたい場所(8択)」のアンケート用紙を配るなど、次に繋がる仕掛けを用意。 ここがポイント:「1回で大勢と話すと疲れてしまう」という参加者の心理に寄り添い、1人ひとりと深いコミュニケーションが取れるため、イベント後のデート継続率が非常に高くなります。 企画の成功を高めるワンポイント 告知の際には、**「なぜ8のつく日なのか(未広がり、無限の縁、運氣アップ)」**というストーリーをフライヤーや募集ページで丁寧に説明すると、参加者の「せっかく縁起がいい日なら行ってみようかな」という心理的ハードルを下げ、集客に繋がります。
TOKYO八結び 展望台からつながる東京	都庁展望台から見える方向ごとに、結婚機運や「8」「ハ」「∞」にゆかりがある場所を紹介する。 東(東京駅方面) * 八重洲* 日本橋* 東京大神宮(少し北東方向)* 「新しい人生のスタート」 南(港区方面) * 八芳園* 東京タワー* レインボーブリッジ* 「未来へ続くご縁」 西(多摩方面) * 八王子* 高尾山* 「未広がりのハ」 北・北東 * 浅草・今戸神社* 東京スカイツリー* 「ご縁が広がる街」 展示方法 展望ガラスに 「← 八芳園 約〇km」 「← 東京大神宮 約〇km」 というようなサインを貼ると、 実際の景色と結び付けて楽しめます。 都庁展望台では「今まさにその方向にある場所」を見ながら紹介できる点が大きな魅力です。景色そのものが展示の一部になるため、会場ならではの体験になります。 さらに発展させるなら 単に「ハが付く場所」を紹介するだけでなく、「東京には結婚やご縁にまつわる場所が点在している。それらを都庁という東京の中心から見渡し、一つにつなぐ」という物語を前面に出すと、東京都の「TOKYO八結び」のテーマにもよく合います。 また、ARを組み合わせて、特定の方向を見るとその場所の紹介やエピソードが表示されるような仕掛けができれば、展望台ならではの体験価値がさらに高まるでしょう。

アイデア名	アイデア内容
エイト・ウォール(8-KNOT WALL)	コンセプト 「交わる、結ぶ、循環する。人生を変える強固な繋がりを体験する1日」 8の字結び(エイトノット)の特性「一番強くて、一番ほどこしやすい」を活かし、現代人に心地よい「ゆるやかな繋がり」を提供。 会場は漢字の「八」の字をモチーフにしたレイアウトになっており、3つのステップを順番に体験しながら進む。 会場は、入場から退場までが「8の字」のワンウェイ(一方通行)導線になっている。 ① 結ぶ(ワークショッップ:所要時間2分) やること:カラフルなロープを使い、その場でスタッフと一緒に「8の字結び」を作る。 ギミック: 8の字結びを作ることで、「上の輪」と「下の輪」の2つのループを持つ、自分だけのコネクロープが完成。 ② 交わる(エイト・ウォール:所要時間3分～) やること: 会場中央にある、漢字の「八」の形をした巨大な木製格子ウォールへ向かう。 【上の輪】にセット: 自分の「得意なこと・興味(例: Kotlin勉強中、ゲーム好き、カフェ巡り)」を書いた白い丸型カードを通し、ウォールの好きなフックへと結びつける。(自分の足跡を残す)。 ウォールを探索:すでに飾られている他の人のカードを自由に見て回る。 ③ 循環する(コネクト:所要時間2分～) やること:ウォールを見ていて「あ、この人と趣味が合う!」「このスキル気になる」というカードを見つけたら、アクションを起こす。 【下の輪】に結ぶ:相手のロープの「下の輪」に、自分の共感メッセージやSNSアカウントを書いた透明な細長カードをすっと通して結びつける。 未来への循環:自分が会場を離れた後も、自分が残した【上の輪】のカードに対して、次に訪れた誰かが【下の輪】に共感メッセージを結んでいくという、終わらない出会いのループ(循環)が生まれる。
縁結び「八角形」プロフィールカード	婚活イベントやマッチングサービスで用いる自己紹介プロフィールを、八角形のカード形式で作成する企画。8つの面にはそれぞれ「価値観」「趣味」「将来設計」「休日の過ごし方」「大切にしていること」など、婚活における重要項目を配置し、従来の文章中心・縦一列のプロフィールシートより直感的に相手を理解できるデザインとする。 趣旨は、婚活における「自己開示のハードルの高さ」という課題に対し、視覚的・ゲーム感覚的なフォーマットで気軽に自分を表現できる手段を提供することにある。 期待効果として、①項目が8つに構造化されていることで自己分析が進み、婚活相談所や自治体窓口でのカウンセリングツールとしても活用可能であること、②紙のカードだけでなくデジタル化すればマッチングアプリのUIにも転用でき、都と民間事業者の連携素材となり得ること、③「八角形」という形状自体がキャンペーンテーマと直結し、ノベルティやポスターなど二次展開もしやすいことが挙げられる。
奥多摩八縁めぐり	「非日常の奥多摩で八つの景色を歩き、八つの会話で近づき、未広がりのご縁へ」をキャッチコピーに、東京アドベンチャーラインの鳩ノ巣駅に午前中に集合し、①双竜の滝、②鳩ノ巣小橋、③鳩ノ巣溪谷、④白丸ダム、⑤白丸魚道、⑥白丸湖畔、⑦数馬狭、⑧氷川溪谷の8か所をウォーキングしながら、話し相手を交代しながら、ゲームやクイズにチャレンジし、仲良くなってもらう仕掛けを設けるウォーキングイベントを実施。ゴール後はパティに場所を移し、クラフトビールを飲みながらお互いを労える場も用意する。 東京アドベンチャーラインという非日常、引き続き関心の高いウォーキング、ハイキングイベント、こちらも関心が高まっているクラフトビールを飲みながら懇親会と、参加したいと思わせるフックを多数用意した企画。
ご縁を八重に結ぶ、祝福のリボンオブジェ	会場に大きな「8」のオブジェを設置し、来場者に「ご縁のリボン」を配布します。リボンの一方には「自分が大切にしたいこと」、もう一方には「誰かと分かち合いたいこと」を書き、蝶結びにしてオブジェへ取り付けます。 リボンの二つの端は、それぞれ異なる人生を歩んできた二人を、二つの輪は互いの個性を、中央の結び目は二人が育てるご縁を表します。目に見えないご縁を、来場者自身の手で目に見える「結び」に変える体験です。 一人ひとりのリボンが幾重にも重なることで、骨組みだけだった「8」が、色鮮やかな「八重の祝福」へ成長します。「八重」は、対話、信頼、思いやり、共に過ごす時間、家族や友人からの祝福などが重なり、関係が育つ姿を表現します。8本のリボンが集まることに一つの「八重結び」を作り、88本、888本などの節目には光や音による祝福演出を行います。 完成したオブジェは、正面からは令和8年、メインビジュアルの「8」、幾重にも重なるリボンは「八重」、蝶結びの二つの輪は横向きで8である「∞」、下の部分は漢字の「八」を想起させます。 結婚を押し付けるのではなく、「自分は何を大切に生きているのか」「パートナーとどんな関係を築いていきたいか」「パートナーとどんな未来を育てたいか」を考えるきっかけをつくります。 一人、カップル、夫婦はもちろん、友人や親子など、誰もが参加できます。 ご縁を結びリボンが幾重にも重なり、東京に大きな「八重の祝福」を生み出す。そんな令和8年ならではの体験型企画です。
幸せのおすそ分け「8結びリレー」	＊東京アプリがメンテナンス中のため、管理番号を取得できませんでした。 幸せのエピソード投稿が次の人の行動を生み、その成果報告がまた次の人を動かす、縁の連鎖を可視化する仕組みの提案です。 都の「ふたりの結婚報告キャンペーン」には、たくさんの幸せの報告が集まっています。本提案は、この幸せの声を「読んで温かくなる」で完結させず、誰かの婚活への一歩につなげ、その一歩の報告がまた次の誰かを動かすリレーとして仕組み化するものです。 ①おすそ分け投稿:既婚・交際中の人が「仲が深まった話」「出会いのきっかけ」「うまくいったデートの工夫」などをニックネームで投稿(8pt)。投稿ごとに受付番号を発行。 ②実践とお礼投稿:投稿を参考にしながら婚活や出会いに向けて実際に動いた人が、参考にした投稿の受付番号を記載して、自分の成果や変化を投稿。実践者と元投稿者の双方に88ptを付与。 ③連鎖:②の投稿を見た人がさらに実践し、番号をつないで投稿。連なりが8件に達すると、参加者全員に888ptの「8結び達成ポイント」を進呈し、その連なりを「8結び∞」として公式サイトやSNSで紹介。 ポイントは8pt→88pt→888ptの三段とし、連鎖が深まるほど報いが増える設計です。
未広がり「八」を編む、ふたりの良縁水引アロマチャーム作り	参加者は、日本の伝統的な縁起物であり、漢字の「八(未広がり)」の形を美しく形作るオリジナルの結び方(あわじ結びの応用等)を学び、ふたりで協力しながら1つのアロマチャーム(お守り・インテリア雑貨)を制作します。使用する材料は市販の水引の紐と、香りを染み込ませる安価なウッドピースやフェルトのみで構成され、東京都の豊かな自然をイメージしたカラー(緑や青など)を各自の感性で組み合わせてもらいます。 チャームの裏面には、手書きの小さなメッセージタグを添えられる仕様にし、「未来のふたりに向けた一言」や「お互いへの感謝」をその場で書いて結びつけます。 この手作業を伴う共同作業は、カップル間のコミュニケーションを深く豊かにし、まだ結婚を具体的に意識していないふたりにとっても、お互いの価値観を再確認する貴重な機会となります。完成したチャームは自宅に持ち帰ってから心地よい香りとともに記憶に残り続け、日常の中で結婚やパートナーシップの温かさを思い出す、低コストながら「息の長い気運醸成」効果を発揮する持続可能な企画です。

アイデア名	アイデア内容
末広ご縁めぐり～東京で結ぶ8つのご縁で、未来へ一歩～	東京を巡る8つのご縁をテーマにしたイベント。イベント参加ごとにスマホアプリで参加スタンプを押していき、参加する度に協賛店舗で特典など付与され、8か所すべて巡ると八結び認定され2人で行ける食事招待券などをもらえる 8つのご縁(案) 1.食 料理教室 2.自然 公園散策や花火イベント 3.芸術 美術館や伝統文化体験 4.学び ライフプランセミナー 5.地域 商店街イベント、ボランティア活動 6.健康 スポーツ、ウォーキング 7.街歩き カフェ、スイーツ巡り 8.未来 交流パーティー、婚活イベント ご縁ボーナス：例えば料理教室で仲良くなった人と次のイベントも一緒に参加するとボーナススタンプ。出会いを「続ける」ことを応援する。 ご縁ボタン：アプリ上でまた会いたいボタンを双方が押すと次のイベントに優先招待。 単なるスタンプ集めではなく、体験を通じて人とのつながりを広げ、ご縁を深めるプログラム 恋人同士だけではなく、一人参加もOKにすることで出会いのきっかけにもなる。
東京∞(エイト)ストーリー ～8つの未来をめぐる旅～	結婚を「しなければならぬもの」と伝えるのではなく、「誰かと歩む人生も素敵だな」と自然に感じられる機会をつくることが、結婚気運の醸成につながると思います。そこで、東京都全体を舞台にした参加型企画「東京∞ストーリー ～8つの未来をめぐる旅～」を提案します。 東京都内8か所(公園、商店街、展望施設、文化施設など)に、「未来」をテーマにしたメッセージスポットを設置します。各スポットには、「8年後はどんな休日を過ごしていきたい?」「大切な人と行ってみたい東京の場所は?」「未来の家族と挑戦したいことは?」など、それぞれ異なるテーマを用意します。参加者は自由に巡りながら、自分の考えや夢を専用カードやデジタルフォームに記入し、同時に他の参加者が残したメッセージも読むことができます。 集まったメッセージの中から、心に響いた作品を毎年「∞ストーリー」として8作品選出し、東京都公式SNSや特設サイト、都庁などで展示・紹介します。また、各スポットを巡った参加者にはデジタルスタンプを付与し、8か所すべてを巡ると記念特典に応募できる仕組みにすることで、楽しみながら参加できるイベントとします。 この企画は、独身・既婚を問わず、友人同士や家族、一人でも気軽に参加できます。結婚そのものをテーマにするのではなく、「大切な人との未来」や「自分が思い描く暮らし」を考えることを入口にすることで、価値観を押し付けることなく、多様な世代が参加しやすい内容です。 「8」は末広がりが、「∞」は人と人とのつながりや未来への広がりを表しています。東京のさまざまな場所を巡り、多くの人の未来への想いに触れることで、「こんな人生もいいな」「誰かと歩む未来も素敵だな」と感じるきっかけを生み出し、結婚に対する前向きな気運の醸成につながることを期待します。
八が、咲く。	二人が漢字の「八」の別々の一面を歩き、花と光の演出で一つの大きな八を完成させる体験型企画です。完成までの様子は8秒の動画として残り、二人だけの思い出として持ち帰ることができます。 企画のコンセプトは、「一緒になることは、同じ道を歩くことではない」です。それぞれが自分の道を持ちながら、一緒に新しい景色をつくっていく。そんな結婚の前向きなイメージを、実際に歩いて体験してもらいます。 会場の床には、巨大な「八」の二画が描かれています。参加する二人は、「八」の上部にある近い場所からスタートし、それぞれ別の一面を歩いていきます。 一歩進むごとに足元へ花と光が現れ、歩いた軌跡が「八」の一画として残ります。二人が別々の方向へ進むほど、花の帯も末広がりに大きく、華やかに広がっていきます。 途中には、踏むと自分の足元ではなく、相手が歩いている道に花が咲くポイントを一つ設けます。別々の道を歩いていても、自分の一歩が相手の景色をきれいにする仕掛けです。 二人がそれぞれの終点に着いた瞬間、床や壁に花と光が一気に広がり、空間全体に大きな「八」が完成します。完成前後の様子は自動で撮影し、二人が歩いている場面から八が完成する瞬間までを、8秒の縦動画に編集します。動画は専用のQRコードからダウンロードでき、思い出として持ち帰れます。 参加している二人からは、歩いている間、完成した八の全体像は見えませんが、体験後に動画を見ることで初めて、別々に歩いていた二人の軌跡が、一つの八になっていたことに気づきます。 恋人や夫婦だけでなく、友人、家族、親子、その場で初めて会った人とも参加できます。一人で来場した方も、スタッフや他の一人参加者と一画ずつ歩けます。撮影は希望者のみとし、撮影をしない方も同じ花と光の体験を楽しめます。 床への映像投影、位置を検知するセンサー、固定カメラなど、既存の技術を組み合わせて実施する想定です。見ている人も参加したくなる空間と、参加した人の手元に残る思い出の両方をつくります。
「八」がつく末広がリスポットを八か所めぐってご縁を結ぶ！八結びラリー&SNS投稿施策	概要:東京都の「八」がつく地名で、縁結びや末広がりにまつわるスポットを巡るラリー形式のイベントを開催。各スポットには色違いの「∞」型の水引きをモチーフにしたフォトパネルを用意。SNSで「＃八結び」をつけて写真を投稿すると、「八」王子座「ハチ」ミツギフトがもらえるキャンペーンを同時に開催し、事業の認知拡大・イベントへの集客を狙います。 形式:参加者それぞれのタイミングで参加できるよう、長期間の自由形式のイベントを想定。東京都のHPやアプリからアクセスできるデジタルラリー形式。 地域:郊外だったら「八」王子、都心では「八」重洲または「八」丁堀など、名前に「八」がつき且つ散策がおもしろい町で開催。観光地・パージョンとして、「八」丈鳥で開催することも検討。 スポット:八王子を例にすると、子安神社や高尾山薬王院など縁結びにまつわるスポットのほか、八幡八雲神社のように「八」との関係が深いスポット、「八」と「末広がリ」の意味を込めたロゴデザインで知られる新スポット「桑都の杜」など、幅広い視点で8か所を選定。それでも数が足りなければ、隣の高摩市の小野神社境内にある「ハートの石」のように、周辺エリアも含めて検討。 景品:ラリー達成で全員がもらえる景品としては、製造・配布のコストを抑えるデジタル景品を想定。たとえば、ダウンロードして使える八結びデザインの婚姻届やスマホ壁紙など。そのほかラリー開催地の店舗に協力してもらい、ラリー達成者への割引などのインセンティブも検討。 フォトパネル: 各スポットには「∞」型の水引きをイメージしたデザインのフォトパネルを用意。∞の左右の輪から2人が並んで顔を出すイメージ。さまざまなカップルや、友人・家族でも撮影しやすいデザインとし、各スポット色違いにするなど全スポットで撮影したくなる動機づけを図る。常設型のパネルが難しければ、手持ち型のパネルでもOK。 SNS投稿キャンペーン: フォトパネルで撮影した写真を「＃八結び」とともにSNSに投稿すると抽選でギフトが当たるキャンペーンを実施し、本事業の認知拡大とラリーへの集客を狙う。景品には「八」王子の養蜂場の「ハチ」ミツなど、もらって嬉しい末広がリなギフトを想定。

アイデア名	アイデア内容
八福マルシェ～8つの幸せが未来を結び～	結婚を「人生のスタート」として前向きにイメージできる体験型イベントです。会場には、結婚生活に欠かせない8つのテーマ「食・住・育児・防災・家計・趣味・健康・地域」のブースを設置し、それぞれで楽しみながら未来の暮らしを体感できます。 「食」のブースでは、都内産の食材を使った時短レシピや二人で作れる料理を紹介し、「住」ではライフステージに合わせた住まいづくりやインテリア、防犯の工夫を展示します。 「育児」では子育て支援制度や育児体験、「防災」では家庭で備える防災グッズや家族で取り組める防災クイズを実施。 「家計」ではライフプランや資産形成の相談、「趣味」では夫婦で楽しめるスポーツや文化体験、「健康」では食生活や運動、メンタルヘルスのアドバイスを受けられます。 「地域」では東京都内の子育て・結婚支援制度や地域コミュニティ、ボランティア活動などを紹介し、結婚後も安心して暮らせる環境を知ることができます。 各ブースを巡ると「八福スタンプ」を集めることができ、8つすべて集めた参加者には「八結び認定証」や東京都オリジナルの記念品をプレゼント。会場中央には「∞(無限)」をモチーフにしたメッセージボードを設置し、「理想の家庭」や「未来のパートナーへ伝えたいこと」を自由に書いて飾ります。参加者一人ひとりの想いがつながり、大きな∞のアートが完成することで、「幸せの輪が未来へ続いていく」というメッセージを発信します。 結婚を考えている人だけでなく、恋人同士、友人、家族、一人で訪れた人も気軽に参加でき、結婚後の生活を具体的にイメージしながら、結婚や家庭を築くことへの期待や安心感を育めるイベントです。楽しみながら実生活に役立つ情報も得られるため、結婚への第一歩を後押し、東京都全体で結婚を応援する機運の醸成につながる企画です。
八結び茶屋 ～お茶とお菓子和、縁をひらく八つの問い～	「八結び茶屋」は、東京都が主催する結婚関連イベントの中に設置する、和の休憩スポット型コンテンツです。 会場には、8種類のお茶と小さなお茶菓子、写真を撮りたくなる和の休憩スペースを用意します。来場者は休憩がてら立ち寄り、好きなお茶とお菓子を選び、8種類の問いが書かれたカードから1枚をランダムに引きます。そして、その問いについて話したり、SNSに投稿したり、自分の中で考えたりすることで、結婚や誰かと生きることについて自然に向き合うきっかけをつくります。 本企画は、恋人や夫婦での参加だけでなく、ひとりでの参加や友人同士での参加も想定します。 恋人や夫婦で訪れた人は、これからの暮らしについて、重くなりすぎず、あたたかく話す時間を持つことができます。友人同士で訪れた人は、恋愛や結婚について直接話すのではなく、「イベントで引いた問い」をきっかけに、普段は話さないような価値観を自然に共有できます。ひとりで立ち寄った人は、問いに対する答えをSNSに投稿したり、心の中で考えたりすることで、自分にとって心地よい関係性や、誰かと暮らすことへの価値観を見つめるきっかけになります。 問いは、参加する関係性に応じて選べるようにします。たとえば、恋人や夫婦向けには「ふたりで過ごす休日、あったらうれしい時間は？」「一緒に暮らすなら、大切にしたい小さな習慣は？」「忙しい日々の中で、どうやって気持ちを伝えたい？」など、これからの暮らしを自然に想像できる問いを用意します。友人同士やひとりでの参加者には「自分にとって、心地いい関係ってどんなもの？」「好きな人に言われたらうれしい言葉は？」「誰かと暮らすなら、譲れない小さな習慣は？」「あなたにとって、いい縁ってどんなもの？」など、SNSにも投稿しやすく、身近な人とのコメントやDMでの会話につながりやすい問いを用意します。 結婚や将来について、いきなり大きな決断として考えるのではなく、お茶を飲みながら、ひとつの問いについて少しだけ考えてみる。その小さな対話や発信を通じて、「誰かと生きること」を前向きに想像するきっかけをつくります。 「八」は末広がりを表す数字であり、令和8年の記念性とも重なります。本企画では、8種類のお茶、8種類の問い、そして人と人との縁が広がっていく休憩スポットとして、「八」を体験の中に自然に取り入れめます。 また、和のしつらえやお茶菓子を含めた空間は、来場者が写真を撮りたくなる祝祭感を演出します。若い世代にとって、恋愛や結婚について自分から語ることは少しハードルが高いものです。しかし、「イベントで引いた問いに答える」という形であれば、自分語りになりすぎず、自然に投稿しやすくなります。その投稿に対して、身近な人がコメントやDMで反応することで、会場の外にも小さな会話や縁が広がっていきます。 1人で立ち寄れる。2人で話せる。SNSを通じて誰かとの会話にも広がる。 「八結び茶屋」は、結婚を一方向的にするのではなく、「誰かと生きること」や「自分にとって心地よい関係」を、やさしく前向きに考えるための、開かれた茶屋を目指します。
ふたりの未来は無限大(∞)！結婚のリアルな壁を乗り越える『八結び』ミッション・ラリー	結婚をためらう要因となる「お金」「住宅」「出産」「子育て」等の不安を、参加者が能動的に楽しみながら解消策を学べる体験型イベントとします。参加者はカップルはペアで、独身の方は男女4×4名のチームで協力し、結婚生活のリアルな課題を解決する「リアル脱出ゲーム(謎解き)」の要素を交えた8つのスタンプラリーに挑戦します。会場内には「8つのブース」を設置し、参加者は各ブースで「資産形成」や「都の住宅支援(アフォーダブル住宅)や、出産・育児支援制度」といった実用的な情報を学びながら、用意された謎を解き明かしていきます。ゲームを通じて、お互いの金銭感覚や結婚観が自然に伝わる「価値観マッチング」の仕掛けも施し、自然な出会いや深い会話も得られるようにします。また具体的な新生活やライフイベントをイメージさせることで結婚やその後の生活の不安を取り除きます。各ジャンルの知識とゲームのエンタメ性を融合させ、社会全体に「ふたりで支え合えば、未来の可能性は無限大(∞)になる」という前向きな結婚気運を醸成する企画です。
二人の未来に向けた八結びスタンプラリー	二人で都内のスタンプラリーのスポットを8箇所巡る企画です。 スタンプラリースポットには縁結びの神社や、8本足にちなんだこ焼き屋さんなど都内のたくさんのスポットを用意します。(8箇所以上でいいと思います。) 数あるスポットの中から二人が行きたいところに行って仲を深め結婚に向かっていく企画です。 スタンプラリーのところには例えばお互いの好きなところを8個言うなどのミッションを書いてあっても楽しめるかもしれません。 そして8個のスタンプを揃えたら、結婚にちなんだプレゼントをあげられたいいかなと思います。 結婚式場の割引券や、結婚式で使えるウェルカムボード・フォトフレームなど。 イメージ画像はAIで生成しました。